No. ６３

中小企業景況調査報告書

平成２６年度第３･四半期（１０ ～ １２月）

真清田神社

Masumida Shrine

一宮市観光協会提供

目　　次

調査の要領　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
今期の概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
景況に対するコメント　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
景況の推移（全業種）前年同期比　・・・・・・・・・・・・・・・４
景況の推移（繊維製造業）前年同期比　・・・・・・・・・・・・・４
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）・・・・・５
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）　・・・６
景況の推移（全業種）業種別集計表　前期比　・・・・・・・・・７
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表　前期比　・・・・・・・８
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位３位）・９
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）・・・10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）・・・・・・・・・・13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所　中小企業相談所

調　査　の　要　領

Ⅰ．調査対象期間　　調査対象期間は、「４～６月」「７～９月」「１０～１２月」「１～３月」の四半期毎とする。

Ⅱ．調査実施時期　　調査実施時期は、「４～６月」「７～９月」「１～３月」については目安として各四半期二月目の２５日から末月の１日とし、末月の１日時点で調査する。また、「１０～１２月」については、目安として１１月１０日から１５日とし、１５日時点で調査する。

Ⅲ．調査の実施（方　法）　　調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。

Ⅳ．調査対象企業数　　１００事業所。

Ⅴ．調査対象企業の業種　　次の表のとおり

（１）景況調査対象事業所（100）の内訳

業　　種	事業所数
建　設　業	7
製　造　業	６２
（繊維製造業）	（４９）
（その他製造業）	（１３）
卸　売　業	１２
小　売　業	１０
サービス業	9
合　　計	１００

（２）繊維製造業対象事業所（49）の内訳

業　　種	事業所数
撚　糸　業	6
織物製造業	２３
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ　の　他	9
合　　計	４９

Ⅵ．分析方法

１．ＤＩ（Diffusion　Index）分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値

２．ＤＩ分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

Ⅶ．分析項目

１．前年同期比
(1)業況　(2)売上　(3)採算　(4)資金繰り　(5)従業員

２．前　期　比
(1)業況　(2)売上　(3)資金繰り

Ⅷ．その他の分析

１．設備投資　　実施状況数

２．経営上の問題点　　各項目をポイント加算（１位３ポイント／２位２ポイント／３位１ポイント）

今　期　の　概　況

回復に遅れが見られる。

1．前年同期比 DI 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべての DI 値で、前期実績を下回った。

来期は、採算、従業員の DI 値で、今期実績を上回り、業況、売上、資金繰りの DI 値で、今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

○業況 DI 値は、前期実績▲18.0 から▲25.0（7.0 ポイント減）となり、来期は▲28.0（3.0 ポイント減）となる見通し。

○売上 DI 値は、前期実績 0.0 から▲12.0（12.0 ポイント減）となり、来期は▲27.0（15.0 ポイント減）となる見通し。

○採算 DI 値は、前期実績▲17.0 から▲30.0（13.0 ポイント減）となり、来期は▲29.0（1.0 ポイント増）となる見通し。

○資金繰り DI 値は、前期実績▲12.0 から▲14.0（2.0 ポイント減）となり、来期は▲20.0（6.0 ポイント減）となる見通し。

○従業員 DI 値は、前期実績 1.0 から▲6.0（7.0 ポイント減）となり、来期は▲4.0（2.0 ポイント増）となる見通し。

繊維製造業の状況

○今期(表 2、5 参照)は、従業員の DI 値で、前期実績と横ばい、業況、売上、採算、資金繰りの DI 値で、前期実績を下回った。

○来期は、従業員の DI 値で、今期実績を上回り、採算の DI 値で、今期実績と横ばい、業況、売上、資金繰りの DI 値で、今期実績を下回る見通し。

2．前期比 ＤＩ値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を下回った。

指標別の状況

○業況 DI 値は、前期実績▲7.0 から▲18.0（11.0 ポイント減）となった。

○売上 DI 値は、前期実績▲5.0 から▲16.0（11.0 ポイント減）となった。

○資金繰り DI 値は、前期実績▲13.0 から▲15.0（2.0 ポイント減）となった。

繊維製造業の状況

○今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を下回った。

3．設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(37 件、25 事業所)に比べ件数は横ばい、事業所数は減少している。

① 今期の実績（表 4、6 参照）は 37 件(21 事業所)。その主な内訳は、『ＯＡ機器』10 件、『生産設備』9 件、『工場建物』7 件、『車両・運搬具』4 件となっている。

② 来期の計画（表 4、6 参照）は 29 件(18 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』9 件、『車両・運搬具』5 件、『付帯施設』5 件、『工場建物』4 件となっている。

4．直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点（表 11 参照）は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『原材料価格等の上昇』、『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』、を挙げている。

業　況　レ　ポ　ー　ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

Ａ 社 （製造業〈撚糸〉）

取引先数社からの受注が順調であるため前年同期比は増収で推移しており、採算面も好転する見通しである。

Ｂ 社 （製造業〈織物〉）

仕事が途切れることはないものの、春夏物から冬物への切り替え時期でもあり、あまり忙しくはない。今後は、冬物の生産が本格化することと同業者の減少、生産の国内回帰等を勘案し、相応の受注は確保できる見込み。

Ｃ 社 （製造業〈織物〉）

尾州の繊維業界全体に業況が悪い。中国からの国内への回帰で 8 月から 10 月初旬にかけては忙しかったものの、小ロットで短納期の受注にも関わらず、工賃は上がらず大変である。

Ｄ 社 （製造業〈織物〉）

業況は良くない。当社が製造する製品は中国や東南アジアへ多く輸出しているため、為替や株価の変動に注視している。消費税増税の影響は特にないが、電気代が上昇し利益を圧迫している。

Ｅ 社 （製造業〈染色〉）

冬物特に綿製品の出荷が増加したため売上が増加した。原材料価格等が上昇しているが、値上げ要請にも応じてもらえている。ただし、原料である羊毛をすべて輸入しているため、円安傾向がいつまで続くのか不安である。

Ｆ 社 （製造業〈自動車部品〉）

消費税増税後、売上は鈍化している。電気代、輸入原材料等の価格上昇分は製品価格に一切転嫁できておらず、工程内の合理化で吸収するように努めている。

Ｇ 社 （製造業〈食品〉）

売上は伸びているが今期に入り苦戦している。人件費、燃料費が上昇しているため年明けから 4 月にかけて 5%程度値上げを行う予定である。

Ｈ 社 （卸売業）

今夏の異常気象と天災により業績面に影響を与えた。尾州産地は原料の多くを輸入に頼っているため、卸値を上げると尾州産地から他産地に需要が移ってしまう懸念もある。今後はデザインの変更や色を変えるなど工夫をしながら価格転嫁するよう努める。

Ｉ 社 （サービス業）

若者の採用を計画しているが、若者は仕事を選り好みするため人材の確保に苦慮している。一宮市は競合他社が多く、景気の動向や政治情勢にも左右される業界であるため、先行きは不透明である。

景 況 の 推 移（全業種１００事業所）　表 1

～前年同期比～

	H25. 10～12月	H26. 1～3月	H26. 4～6月	H26. 7～9月	今　期 H26. 10～12月	来期の見通し H27. 1～3月
業　　況	▲15. 0	▲19. 0	▲15. 0	▲18. 0	▲25. 0	▲28. 0
売　　上	▲ 3. 0	▲ 8. 0	0. 0	0. 0	▲12. 0	▲27. 0
採　　算	▲23. 0	▲23. 0	▲25. 0	▲17. 0	▲30. 0	▲29. 0
資金繰り	▲ 1. 0	▲ 9. 0	▲12. 0	▲12. 0	▲14. 0	▲20. 0
従 業 員	0. 0	▲ 6. 0	▲ 1. 0	1. 0	▲ 6. 0	▲ 4. 0

景 況 の 推 移（繊維製造業49事業所）　表 2

～前年同期比～

	H25. 10～12月	H26. 1～3月	H26. 4～6月	H26. 7～9月	今　期 H26. 10～12月	来期の見通し H27. 1～3月
業　　況	▲25. 0	▲27. 1	▲ 8. 2	▲16. 3	▲22. 4	▲28. 6
売　　上	▲ 2. 1	▲20. 8	14. 3	8. 2	▲8. 2	▲18. 4
採　　算	▲43. 8	▲31. 3	▲18. 4	▲18. 4	▲30. 6	▲30. 6
資金繰り	▲ 6. 3	▲14. 6	▲ 8. 2	14. 3	▲16. 3	▲18. 4
従 業 員	▲ 6. 3	▲20. 8	▲ 4. 1	▲ 4. 1	▲ 4 . 1	2. 0

業種別集計表 （全業種１００事業所） 表３

～ 前年同期比 ～

	事業所数	7	62	12	10	9	100	ＤＩ
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 （0）	8 （3）	0 （1）	0 （0）	1 （0）	9 （4）	▲ 25.0
	不変	7 （6）	34 （38）	9 （9）	2 （5）	5 （6）	57 （64）	
	悪化	0 （1）	20 （21）	3 （2）	8 （5）	3 （3）	34 （32）	（▲28.0）
売上	増加	0 （0）	16 （9）	3 （1）	0 （0）	2 （0）	21 （10）	▲ 12.0
	不変	5 （6）	27 （31）	7 （9）	2 （3）	5 （4）	46 （53）	
	減少	2 （1）	19 （22）	2 （2）	8 （7）	2 （5）	33 （37）	（▲27.0）
採算	好転	0 （0）	7 （3）	2 （2）	0 （0）	1 （0）	10 （5）	▲ 30.0
	不変	6 （6）	32 （37）	7 （8）	3 （6）	2 （4）	50 （61）	
	悪化	1 （1）	23 （22）	3 （2）	7 （4）	6 （5）	40 （34）	（▲29.0）
資金繰り	好転	0 （0）	3 （0）	0 （0）	0 （0）	1 （0）	4 （0）	▲ 14.0
	不変	7 （6）	49 （50）	9 （11）	6 （5）	7 （8）	78 （80）	
	悪化	0 （1）	10 （12）	3 （1）	4 （5）	1 （1）	18 （20）	（▲20.0）
従業員	増加	1 （1）	9 （5）	1 （0）	0 （0）	3 （1）	14 （7）	▲ 6.0
	不変	4 （5）	41 （51）	10 （12）	7 （8）	4 （6）	66 （82）	
	減少	2 （1）	12 （6）	1 （0）	3 （2）	2 （2）	20 （11）	（▲4.0）

※ 採算は経常利益で判断　　※（　）内は来期

新規設備投資集計表 （全業種１００事業所） 表４

設備投資	今期	実施した ※1	21	来期	計画している ※2	18
	（事業所数）	実施していない	79	（事業所数）	計画していない	82

	※１	※２		※１	※２
1．土地	2 件	1 件	5．付帯施設	3 件	5 件
2．工場建物	7 件	4 件	6．ＯＡ機器	10 件	3 件
3．生産設備	9 件	9 件	7．福利厚生施設	0 件	0 件
4．車両・運搬具	4 件	5 件	8．その他	2 件	2 件
			合計	37 件	29 件

複数回答可

業種別集計表 （繊維製造業49事業所） 表 5

～ 前年同期比 ～

	事業所数	6	23	8	3	9	49	DI
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (1)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	5 (2)	▲ 22.4
	不変	4 (5)	15 (14)	5 (5)	1 (3)	3 (4)	28 (31)	
	悪化	1 (0)	6 (9)	3 (3)	1 (0)	5 (4)	16 (16)	(▲28.6)
売上	増加	2 (3)	7 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (4)	13 (8)	▲ 8.2
	不変	3 (3)	9 (11)	3 (5)	3 (3)	1 (2)	19 (24)	
	減少	1 (0)	7 (11)	4 (3)	0 (0)	5 (3)	17 (17)	(▲18.4)
採算	好転	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	5 (3)	▲ 30.6
	不変	4 (5)	13 (14)	3 (4)	2 (3)	2 (2)	24 (28)	
	悪化	1 (0)	9 (9)	5 (4)	0 (0)	5 (5)	20 (18)	(▲30.6)
資金繰り	好転	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	▲ 16.3
	不変	6 (6)	18 (18)	6 (7)	2 (2)	7 (7)	39 (40)	
	悪化	0 (0)	4 (5)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	9 (9)	(▲18.4)
従業員	増加	1 (1)	3 (3)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (4)	▲ 4.1
	不変	4 (5)	16 (18)	5 (8)	2 (3)	8 (8)	35 (42)	
	減少	1 (0)	4 (2)	2 (0)	0 (0)	1 (1)	8 (3)	(2.0)

※ 採算は経常利益で判断　　※（　）内は来期

新規設備投資集計表 （繊維製造業49事業所） 表 6

設備投資	今期	実施した ※1	10	来期	計画している ※2	7
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	42

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	5 件	2 件	6. OA機器	3 件	0 件
3. 生産設備	5 件	6 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	0 件	2 件	8. その他	0 件	1 件
			合計	15 件	12 件

複数回答可

景　況　の　推　移　（全業種100事業所）　表７

～ 前 期 比 ～

	H25.10～12月	H26.1～3月	H26.4～6月	H26.7～9月	今　期 H26.10～12月
業　況	▲ 2.0	▲29.0	▲ 4.0	▲ 7.0	▲ 18.0
売　上	3.0	▲42.0	▲ 3.0	▲ 5.0	▲ 16.0
資金繰り	▲ 3.0	▲19.0	▲ 7.0	▲13.0	▲15.0

業 種 別 集 計 表　（全業種100事業所）　表８

～ 前 期 比 ～

	事業所数	7	62	12	10	9	100	ＤＩ
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合　計	
業況	好　転	1	7	2	1	1	12	▲ 18.0
	不　変	5	35	9	4	5	58	
	悪　化	1	20	1	5	3	30	
売上	増　加	0	11	3	2	3	19	▲ 16.0
	不　変	6	27	8	1	4	46	
	減　少	1	24	1	7	2	35	
資金繰り	好　転	0	2	0	0	0	2	▲ 15.0
	不　変	7	49	11	5	9	81	
	悪　化	0	11	1	5	0	17	

景　況　の　推　移　（繊維製造業49事業所）　表９

～ 前 期 比 ～

	H25. 10～12月	H26. 1～3月	H26. 4～6月	H26. 7～9月	今　期 H26. 10～12月
業　況	▲16. 7	▲37. 5	12. 2	▲10. 2	▲28. 6
売　上	▲12. 5	▲58. 3	16. 3	▲ 2. 0	▲ 28. 6
資金繰り	▲ 6. 3	▲29. 2	▲ 2. 0	▲12. 2	▲18. 4

業 種 別 集 計 表　（繊維製造業49事業所）　表１０

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	23	8	3	9	49	ＤＩ
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	そ の 他	合　計	
業況	好　転	1	1	0	0	1	3	▲ 28.6
	不　変	5	13	4	3	4	29	
	悪　化	0	9	4	0	4	17	
売上	増　加	2	3	0	0	3	8	▲ 28.6
	不　変	2	8	4	3	2	19	
	減　少	2	12	4	0	4	22	
資金繰り	好　転	0	1	0	0	0	1	▲ 18.4
	不　変	6	17	5	3	7	38	
	悪　化	0	5	3	0	2	10	

『直面している経営上の問題点』の集計表　表 11

（全業種上位３位）

業種＼順位	内容		
	１　位	２　位	３　位
建設業	○請負単価の低下・上昇難	○従業員の確保難 ○民間需要の停滞	○材料価格の上昇 ○下請業者の確保難 ○官公需要の停滞
繊維製造業	○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○製品（加工）単価の低下・上昇難
製造業（繊維製造業は除く）	○製品（加工）単価の低下・上昇難	○原材料価格の上昇	○製品ニーズの変化への対応
卸売業	○従業員の確保難	○仕入単価の上昇	○商品在庫の過剰
小売業	○需要の停滞	○大型店・中型店の進出による競争の激化	○販売単価の低下・上昇難
サービス業	○人件費の増加 ○材料等仕入単価の上昇	○従業員の確保難	○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内　　容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	4
材料の入手難	0
人件費の増加	3
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	10
下請単価の上昇	3
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	4
官公需要の停滞	4
民間需要の停滞	6
その他	0
合　　計	42

繊維製造業

内　　容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	23
生産設備の不足・老朽化	23
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	73
原材料の不足	2
人件費の増加	17
原材料費・人件費以外の経費の増加	15
製品（加工）単価の低下・上昇難	34
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	13
需要の停滞	55
その他 （電気代の上昇）	1
合　　計	278

※１位……　３ポイント
　２位……　２ポイント
　３位……　１ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製　造　業
（繊維製造業は除く）

内　　容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	9
生産設備の不足・老朽化	5
生産設備の過剰	3
原材料価格の上昇	14
原材料の不足	0
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品（加工）単価の低下・上昇難	16
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	3
熟練技術者の確保難	1
需要の停滞	6
その他	1
合　　計	72

卸 売 業

内　　容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1
商品在庫の過剰	4
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	1
仕入単価の上昇	15
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	16
需要の停滞	3
その他	0
合　　計	49

※１位……　３ポイント
　２位……　２ポイント
　３位……　１ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内　　容	ﾎﾟｲﾝﾄ
大型店･中型店の進出による競争の激化	8
同業者の進出	1
購買力の他地域への流出	5
消費者ニーズの変化への対応	5
店舗の狭隘･老朽化	0
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下･上昇難	7
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	4
需要の停滞	14
その他	0
合　　計	47

サービス業

内　　容	ﾎﾟｲﾝﾄ
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	2
利用者ニーズの変化への対応	0
店舗施設の狭隘･老朽化	2
人件費の増加	11
人件費以外の経費の増加	1
利用料金の低下･上昇難	5
材料等仕入単価の上昇	11
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	6
その他	0
合　　計	53

※１位…　…　３ポイント
　２位…　…　２ポイント
　３位…　…　１ポイント

図 1

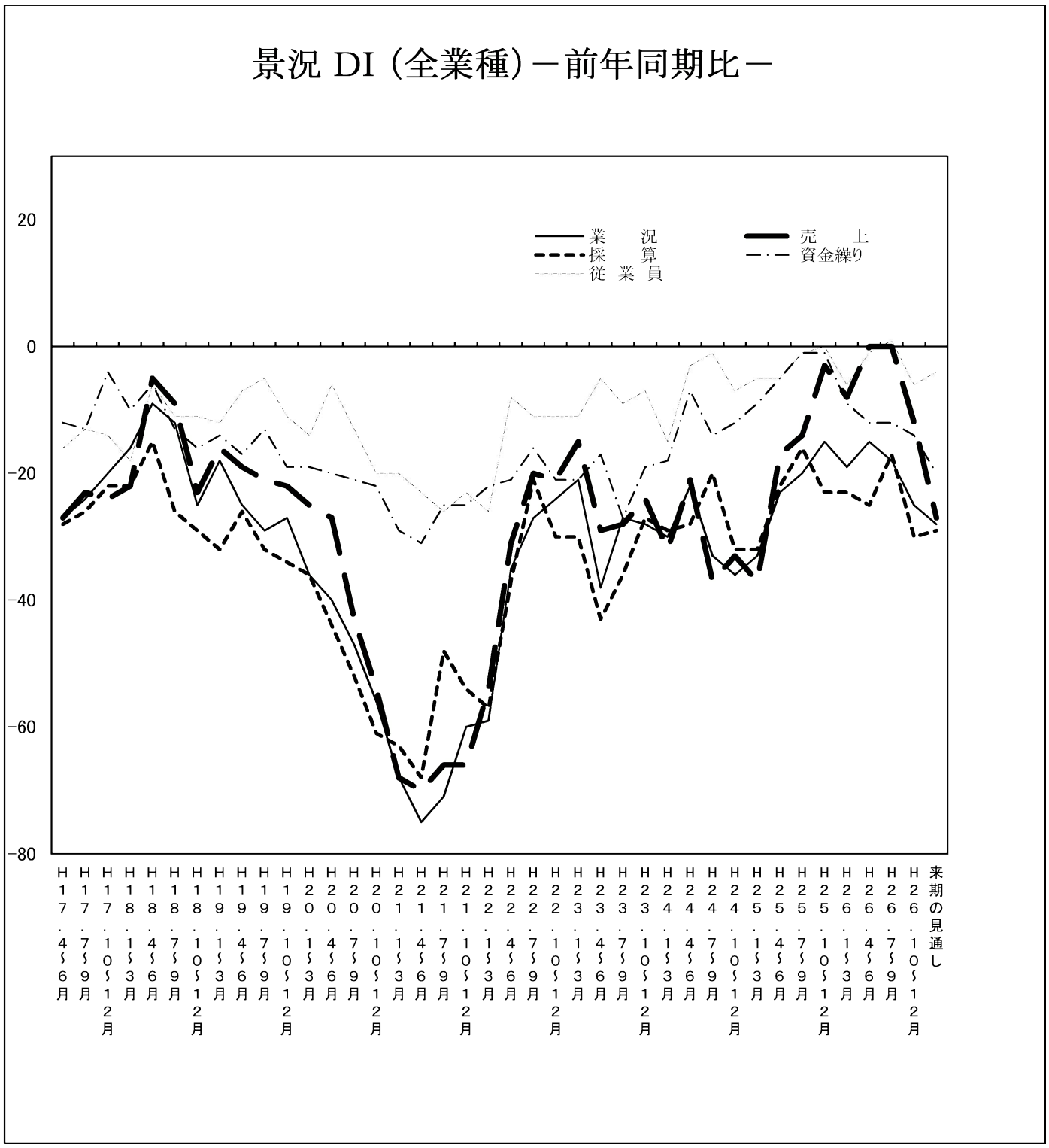

景況 DI（全業種）－前年同期比－
業　況
採　算
従 業 員
売　上
資金繰り
20
0
−20
−40
−60
−80
H17.4～6月
H17.7～9月
H17.10～12月
H18.1～3月
H18.4～6月
H18.7～9月
H18.10～12月
H19.1～3月
H19.4～6月
H19.7～9月
H19.10～12月
H20.1～3月
H20.4～6月
H20.7～9月
H20.10～12月
H21.1～3月
H21.4～6月
H21.7～9月
H21.10～12月
H22.1～3月
H22.4～6月
H22.7～9月
H22.10～12月
H23.1～3月
H23.4～6月
H23.7～9月
H23.10～12月
H24.1～3月
H24.4～6月
H24.7～9月
H24.10～12月
H25.1～3月
H25.4～6月
H25.7～9月
H25.10～12月
H26.1～3月
H26.4～6月
H26.7～9月
H26.10～12月
来期の見通し

図 2

業　況 DI －前年同期比－

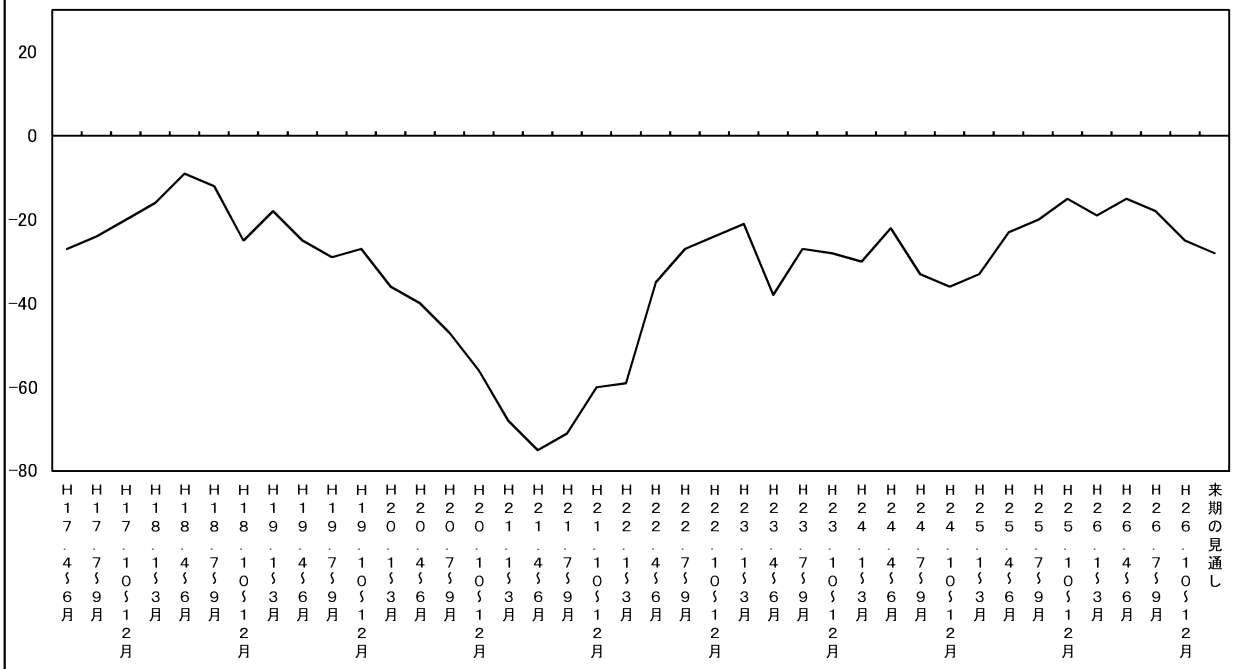


図 3

売　上 DI －前年同期比－

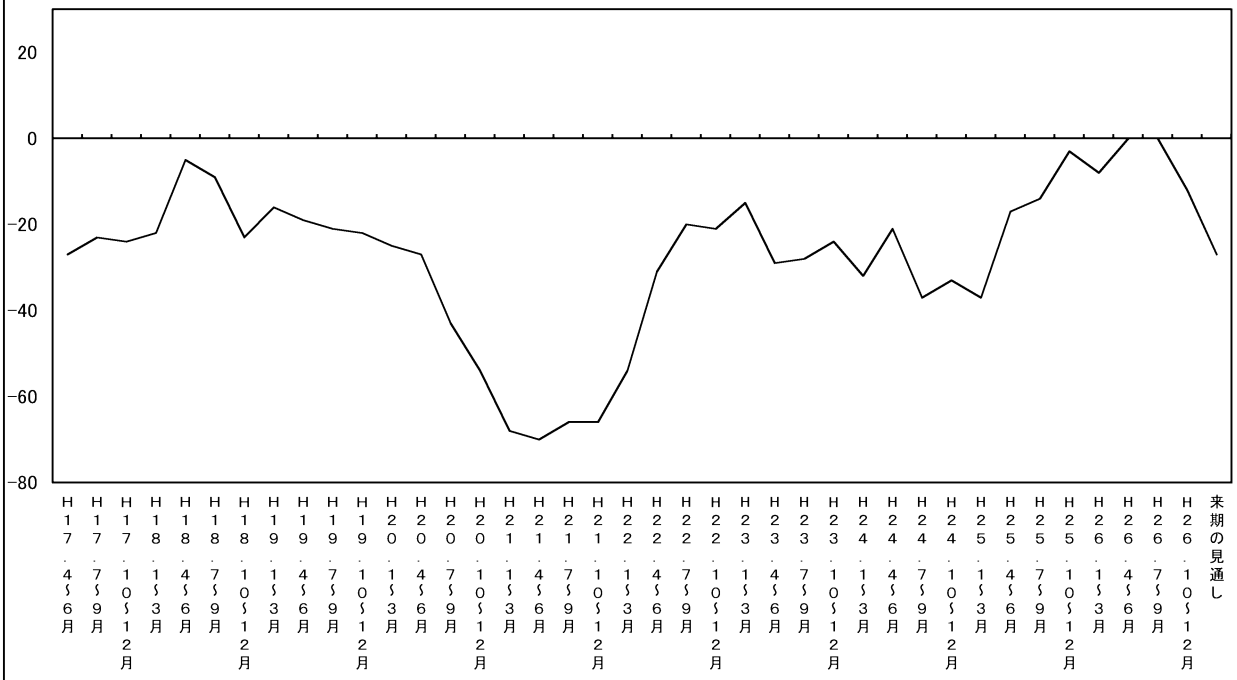


図 4

採　算 DI －前年同期比－

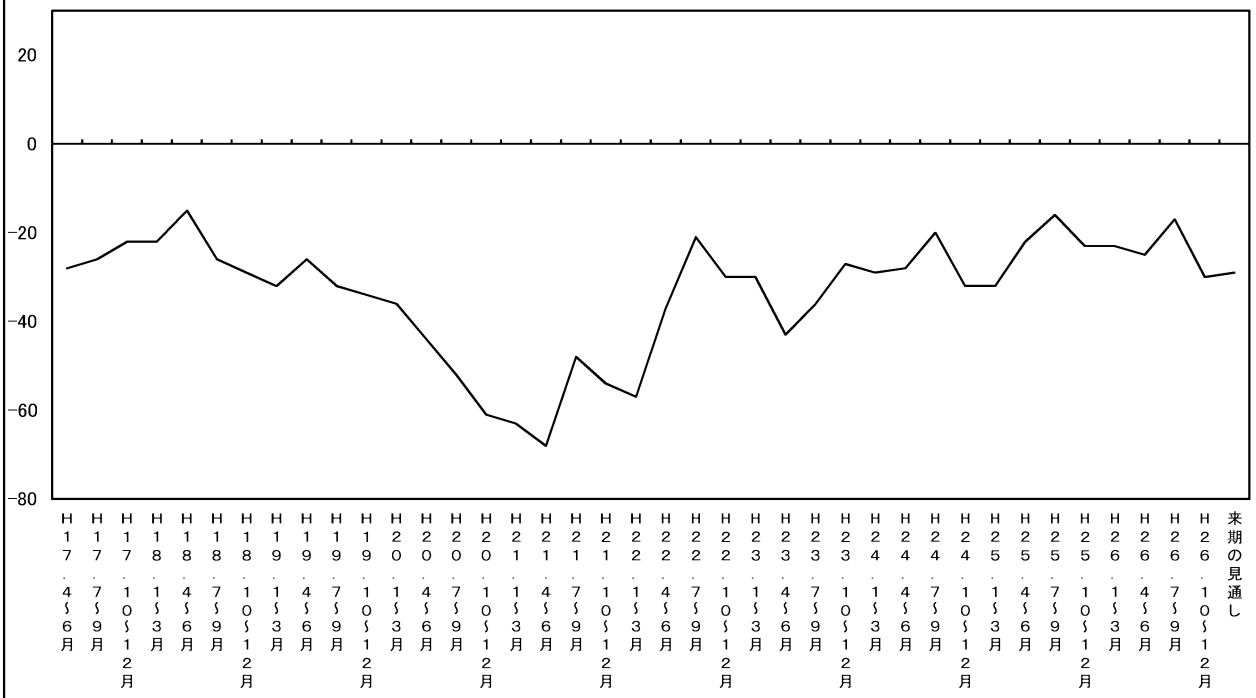


図 5

資金繰り DI －前年同期比－

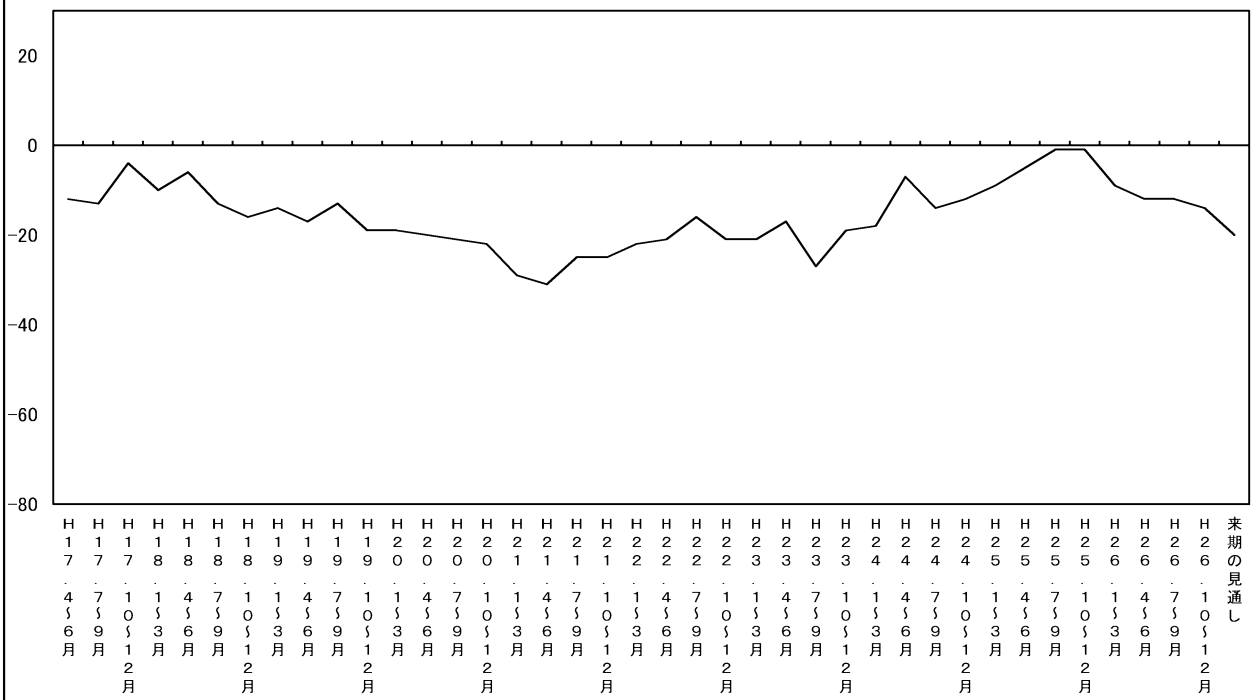
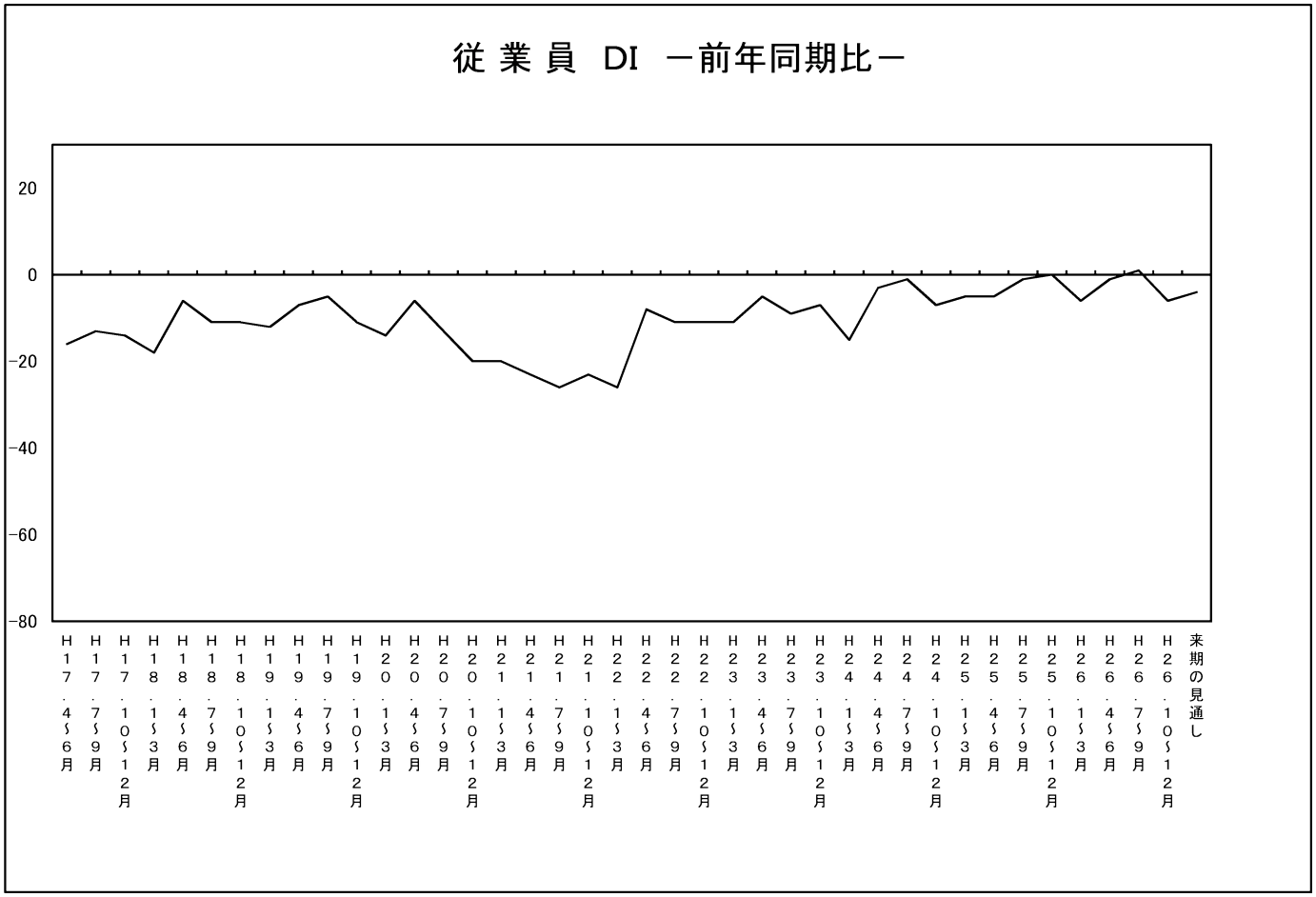


図 6


従 業 員 DI －前年同期比－
20
0
−20
−40
−60
−80
H17.4～6月
H17.7～9月
H17.10～12月
H18.1～3月
H18.4～6月
H18.7～9月
H18.10～12月
H19.1～3月
H19.4～6月
H19.7～9月
H19.10～12月
H20.1～3月
H20.4～6月
H20.7～9月
H20.10～12月
H21.1～3月
H21.4～6月
H21.7～9月
H21.10～12月
H22.1～3月
H22.4～6月
H22.7～9月
H22.10～12月
H23.1～3月
H23.4～6月
H23.7～9月
H23.10～12月
H24.1～3月
H24.4～6月
H24.7～9月
H24.10～12月
H25.1～3月
H25.4～6月
H25.7～9月
H25.10～12月
H26.1～3月
H26.4～6月
H26.7～9月
H26.10～12月
来期の見通し

一　宮　商　工　会　議　所
中　小　企　業　相　談　所

一宮市栄四丁目２番１号（〒491－8686）
Ｔ　Ｅ　Ｌ（0586）７２－４６１１
Ｆ　Ａ　Ｘ（0586）７２－４４１１
Ｕ　Ｒ　Ｌ http://www.ichinomiya-cci.or.jp
Ｅ-ｍａｉｌ soudan@ichinomiya-cci.or.jp